

令和8年度病害虫発生予察注意報 第1号

令和8年5月27日
千葉県農林総合研究センター長

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）越冬後成虫多発生のおそれ

1 注意報の内容

- (1) 対象作物：果樹全般（特にナシ）
- (2) 発生地域：北西部・北東部
- (3) 発生量：多

2 注意報発令の根拠

- (1) 県北西部及び北東部の5地点に設置しているチャバネアオカメムシ集合フェロモントラップの5月（第1～4半旬）の1日当たり誘殺数は9.0頭（平年値4.5頭）で、過去10年間と比較して3番目に多く、直近で注意報を発出した2024年よりも多かった（図）。
- (2) 気象庁の3か月予報（5月19日発表）によると、6～8月の気温は平年より高くなると予想されている。

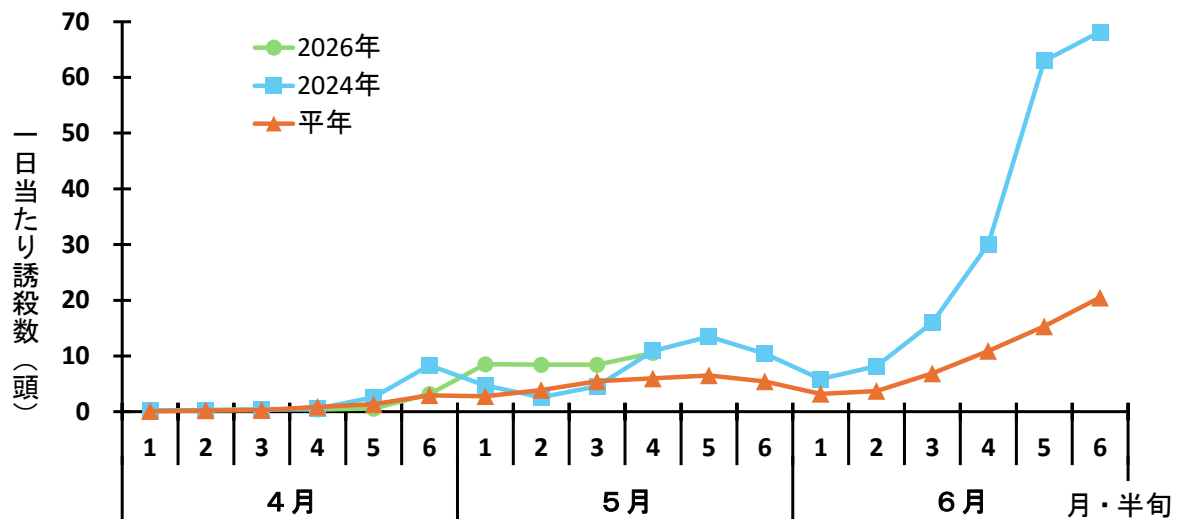


図 県北西部及び北東部のチャバネアオカメムシ集合フェロモントラップ誘殺数の推移

3 防除上の注意事項

- (1) 果樹カメムシ類は、各種樹木の果実等を移動しながら吸汁しており、果樹園への飛来状況は地域や園により異なるので、園内をこまめに見回り、飛来を確認したら早急に薬剤防除を行う。
- (2) 薬剤を散布する場合は、農薬使用基準に定められた使用時期（収穫前日数）に注意する。夕方から夜間に飛来する個体が多いので、散布は夕方に行うと効果的である。
- (3) ナシでは多目的防災網（9mmクロス目合い）や防虫ネット（4mm目合い）で園全体を覆う。



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ

写真 果樹カメムシ類

表 カメムシ類に登録がある主な防除薬剤（令和8年5月20日現在）

作物名	I R A C コード※1	薬剤名	希釈倍数	使用時期/使用回数※2
ナシ	3 A	マブリック水和剤 20	2,000	収穫 30 日前まで/2 回以内
		ロディー水和剤	1,000	収穫前日まで/2 回以内
	4 A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000~4,000	収穫前日まで/3 回以内
		スタークル顆粒水溶剤	2,000	
		ダントツ水溶剤	2,000~4,000	
	2 8	テッパン液剤	2,000	収穫前日まで/2 回以内
カン キツ	3 A	テルスター水和剤	1,000~2,000	収穫前日まで/3 回以内
	4 A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000~4,000	収穫 14 日前まで/3 回以内
		スタークル/ アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで/3 回以内

※1 I R A C（殺虫剤抵抗性対策委員会）コード：殺虫剤の作用機構の分類を表すものである。

3 A：ピレスロイド系

4 A：ネオニコチノイド系

2 8：ジアミド系

※2 薬剤名が異なっても同じ成分を含む薬剤があるので、散布前に確認し、同じ成分がある場合、合計使用回数が制限を超えないように注意する。

注 農薬の使用に当たっては、最新の農薬登録内容を確認し、製品ラベルに記載された使用基準等を守り適正に使用する。

・病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>

・薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。

<https://pesticide.maff.go.jp/>

問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町 180 番地 1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

